

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



大切にしたい

感謝の気持ち

先日こんなことがあった。
車がやっとすれ違えるくらい道の運転中、前には駐車している車、向こうからは茶髪で学生服姿のちよつといかつい男子高校生が自転車ですれ違ってきた。仕方ないので車を止めて高校生が通り過ぎるのを待った。すると、その男子はすれ違いざま深々と頭を下げ丁寧に「お辞儀をして通り過ぎた。一瞬目を疑ったが、助手席にいた妻が「今の子、お礼を言ったよね。」とつぶやいた。おそらくは私と同じで、その見た目からは想像できない行動に驚いたのと、少し温かい気持ちになったのだと思う。
自分のしたことに思いがけずお礼を言われたり感謝されたりするとうれしいものである。それは、おそらくお礼そのものがうれしいのではなく、相手にそういう気持ちを持ってもらったことがうれしいのではないかと思う。
日頃の学校生活の中でも自分にしてもらったことに気づき「あり

がとう」と言えたり、会釈でそれをあらわせたりする生徒を見ると気持ちいいものである。しかし、そうした行動は生まれつきできるものではない。挨拶をしてくれた高校生も、おそらく周囲の大人の行動を見たり、相手に対する感謝の気持ちや思いやりの大切さを教えられて身につけたものだと思う。そして、そのちよつとした行動が人との関係を良くしていったり、周囲を優しい気持ちにしたりすることにつながるのだと感じた。

名前も知らない、ましてや日頃家庭や学校でどんな言動をしているのかもわからない学生だったが、見ず知らずの人に対しても感謝の気持ちを持ち、それを行動であらわすことができる彼に安心感を覚えた。と同時に、私自身もそのように行動できているのか、子どもたちに伝えられているのかをあらためて考えさせられる出来事だった。

鏡野町生徒指導連絡協議会
鏡野中学校 岩元 利政

のびのびひろば

おおきくなあれ!

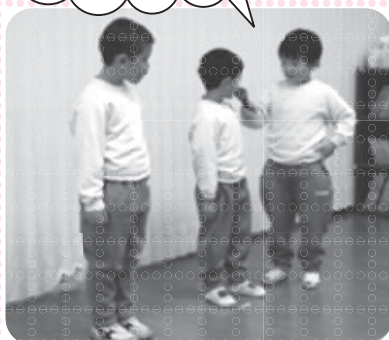
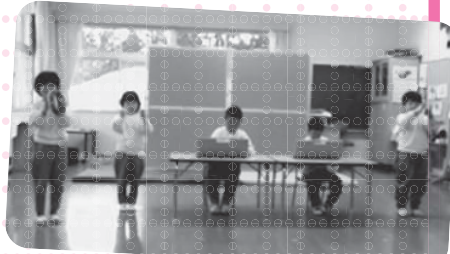
(上齋原幼稚園)

新年度を迎え、子どもたちはひとつ大きくなりました。3月には、おわかれ会を開き、各クラスの出し物や全園児で合奏・手話に取り組みました。また、親子でリ्यूター体験をしたり会食をしたりして、保護者の方といっしょに、子どもたちの成長を分かち合うことができました。楽しかったことやうれしかったこと、悔しかったこと、歯を食いしばって頑張ったこと、ひとつひとつが新しい生活の力になることを期待しています。



大きくなったら
何になりたいですか?

年少・年中組は、
忍者修行★



年長組は、
創作紙芝居と
一輪車★